



令和5年3月

山形県村山総合支庁子ども家庭支援課

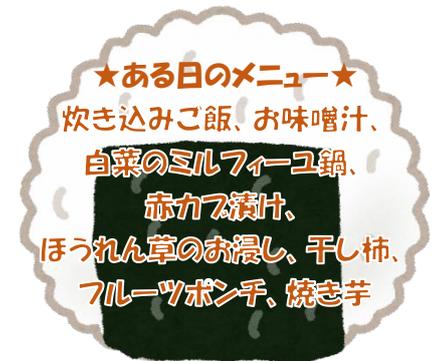


今回から「子どもの居場所ニュース」として、村山地域で「子どもの居場所づくり」に取り組む方をシリーズで紹介します。

第1回は、山形市の「あさがお子ども食堂」です。代表の白壁さんに伺いました。「あさがお子ども食堂」は、最近の子どもたちに関わる痛ましい事件をきっかけに、「親以外の大人が子どもと関わる居場所として、子ども食堂への取組みは私たちにもできるのではないか。」と考え、友達4人を誘い5年前に立ち上げました。開所当時は「子ども食堂」の存在を知らない人が多く、認知してもらうのに苦労しました。また、「貧困対策なの?」「生活に余裕のない家の子どもが行くの?」という偏見や思い込みにも悩みました。

現在は3歳から高校3年生までの子どもと、その保護者等 15～18名が来ています。応援してくださる方からいただいたお米や野菜、賛助金をもとに、カレーライスや炊き込みごはん、栄養バランスを考えたおかずなど心を込めて提供しています。「おいしい〜!」と言ってもらうことがとても嬉しく、長く来てくれる子どももいて子どもたちの成長を見れることは何よりの楽しみです。

普段は、大学生ボランティアの協力を得て宿題や遊びの時間を確保し、年齢の違う子どもたちがともに活動する姿が見られるのですが、コロナ禍の今、食事の提供だけにして、隔週での参加や2部制(1部 17:30～、2部 18:30～)にするなど人数を抑える工夫をして運営しています。県内の感染者が増えた時はお弁当の持ち帰りなども実施しています。



代表の白壁さんは、「学校や家庭での居場所に悩んでいる子どもの第3の居場所になりたい。子育て中の保護者も疲れた時に気軽に立ち寄って何気ない会話ができる場所にしたい。是非、一度来てみてください。」と多くの方が来てくれるよう期待を寄せていました。

村山総合支庁は、これからも子どもと保護者の笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。

【村山総合支庁ニュース 令和4年2月号掲載】

☆あさがお子ども食堂☆

●開催情報(要事前申込)

開催日: 毎週火曜日

場 所: 山形市八日町

●問い合わせ先

メール: asagaokodomo@gmail.com

電 話: 090-7930-9811

LINE QR コード



Vol.2

“多世代交流と自由な活動”が特色です！

今回は、村山市の在宅介護を支える家族の会 子ども食堂「みんなでおうちごはん」を紹介します。代表の工藤さんに伺いました。

「在宅介護を支える家族の会」は、認知症の家族が立ち寄り、交流や相談できる居場所が欲しいという地域の要望に応え、平成9年に発足しました。その後、子どもから高齢者までだれでも自由に利用できる居場所に拡大し、「独りぼっちの食事をなくそう街づくり」をテーマに、平成29年に子ども食堂「みんなでおうちごはん」を始めました。現在は食事提供や体操教室、遊び講座などを行う多世代間交流を開催し、毎回15名前後が参加して楽しんでいます。



お父さんおかず

「みんなでおうちごはん」は、地元の農家さんやお母さん方からの食材提供や県民共済からの助成金など、地域の方々から様々な協力をいただきながら活動しています。そんな協力のもとで作る愛情たっぷりの食事メニューの中で、子どもたちの一番人気はカレーライスです。食べ終わった後に「おいしかった！」「また来たい！」と言ってもらえることがとても励みになると工藤さん。また、男性が調理する「お父さんおかず」も大人気

です。子どもたちが楽しい食事やのびのびとした活動を通して成長していく姿を見ると、続けてきてよかったと嬉しくなるそうです。

代表の工藤さんは、「今後は子どもたちの学習支援を考えています。地元から学生ボランティアを募り、後継者を育て専任スタッフを常駐させたいと考えているので、食材費はもちろんのこと、学習教材・教具をそろえるために何とか資金を調達し活性化したい。多世代交流の場として、誰もが気軽に立ち寄れて居心地のよさを実感できる家になるようにがんばるので、是非、立ち寄ってください。ご協力をお願いします。」と多くの方の来館・協力を期待を寄せていました。



村山総合支庁は、これからも地域の方々の笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。



【村山総合支庁ニュース 令和4年4月号掲載】

☆みんなでおうちごはん☆

- 開催情報(要事前申込)
- 開催日:第1日曜日11時～、第3土曜日12時～
最終火曜日17時～
- 場 所:村山市楯岡十日町「支えあい館」
- 問い合わせ先
- 電話:090-2844-1150、FAX:0237-55-2063
- 参加料
- 小学生以下5円、中学生50円
- 大人 300円(高校生・障がい者・失業者 150円)

シリーズ「子どもの居場所ニュース」

フリースクールあにまる ほのポーノちるどれん / 山形市

悩んだら、ここへおいで

Vol.3



今回は、山形市飯田のフリースクール「あにまる」を訪問しました。「あにまる」では、興味のあること・やってみたいことにチャレンジする活動を通して、子どもたちの健全な成長を促すことを目的にしています。「長いスパンで社会的な自立を促すことが目標です。」と、事務局長の荒木秀和さん（元警察官）は話します。

今から11年前、米沢市において、地域の子どもたちと一緒にフットサルを楽しもうと呼びかけたのが活動の始まりです。子どもたちは笑顔で活動しながらも、反面、「学校に行きたくない」「家に帰りたくない」など多くの悩みを抱えていたため、妻ののぞみさん（現理事長）が親身になって相談にのり、時には食事を提供するなどしながら面倒をみてきたそうです。「子どもたちと時間を共有しているうちに、いつしか



「明日は学校に行ってみようかな…」と心の変化がみられたときは、涙が出るほどうれしく感動したことを思い出します。」とのぞみさん。同時に、大人になるために自立を促せる居場所をさらに広げたい！と決心し、子どもの居場所としての「子ども食堂 ほのポーノちるどれん」を立ち上げました。そして、6年前に荒木ご夫妻の出身地である山形市に拠点を移し活動を始めました。



現在は、通所の児童・生徒を合わせると約60名が登録し、仲間とともにフットサルやトレーニングを楽しみ、季節ごとの課外活動・農業体験等で汗を流しています。また、一人で食事をすることが多い子どもたちへの食事のサポート等も行っています。コロナ禍で人数制限はありますが、「年齢・性別の違う人と共にスポーツや体験活動、食事を通して他者と関わる術を自然に学んでいるようです。ここは、そんな当たり前のことを学べる場所でありたいと思っています。一緒に悩みを解決しましょう。」と秀和さんが笑顔で話してくれました。また、地域の方に参加していただく餅つき大会や芋煮会などの行事を実施しているので、皆さんにもぜひ足を運んでいただき交流を深めたい、と地域にも広く目を向けています。今後、「子どもと大人が気軽に語れる場を広げ、互いのことを思いやれる小さな

コミュニティを作ることこそが、長い目で子どもたちの成長の手助けになる。」と語るご夫婦の姿には力強さと頼もしさが感じられました。

村山総合支庁は、これからも子どもたちの笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。

☆子ども食堂 ほのポーノちるどれん ☆

- 開催情報
- 開催日：毎日開催
- 場所：山形市飯田3-2-12
「フリースクール あにまる」内
- 問合せ先 電話：023-600-2600
- E-mail：animal_school2011@yahoo.co.jp
- 検索：「フリースクールあにまる」
- 利用料金 要問合せ

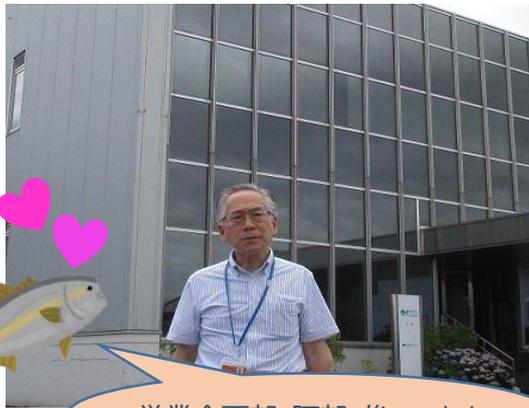




株式会社 山形丸魚
〒994-0057
山形県天童市石鳥居二丁目2番70号
TEL 023-658-3335(営業企画課)

心豊かな食の実現を通し、会社にかかわるすべての人たちの幸福追求と社会貢献を社是とする株式会社山形丸魚は、天童市内に本社を有する総合食品流通事業所です。創業は1942年（昭和17年）で、天童市内にある本社のほか、現在県内7カ所に支社・営業所などを展開し、生鮮水産物および加工品、一般加工食品、飲料、瓶缶詰、調味料などの卸売業を事業内容としています。現在同社は、県の「子どもの居場所づくりネットワーク」の趣旨に賛同し、その設立にあたり応援団体として、平成30年から子ども食堂への食材提供を行っています。

この活動を始めたきっかけを伺うと、社内で「子ども食堂」が話題となり、その活動の志の高さに共感したことが発端だったそうです。その時、魚・肉類の食材寄付がなかなか集まらず、子ども食堂が困っていることを知り、それなら会社として協力できるのではないかと考え、現在の活動につながったそうです。



営業企画部 阿部 俊一 さん

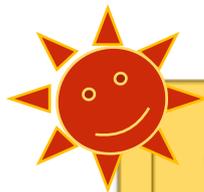


山形丸魚提供の食材

活動をスタートするにあたり検討したことは、子ども食堂と会社の目指す方向性に乖離が生じないように、また、持続可能な取組となるよう「あらかじめ枠を決めること」だったそうです。そこで、提供回数は月1回と決め、金額も1回あたり3,000円～5,000円に設定したとのこと。食材を提供している子ども食堂から、年間のおおよその活動予定をあらかじめ入手し、1～2週間前にメニューに即した具体的な食材提供の依頼を受け取り、当日の食材を準備します。食材は、子ども食堂の手間にならないよう、事前に下処理を行った業務用のものを子どもたちの食卓に届けています。

この業務を担当している営業本部営業企画課の阿部俊一さんのお話によれば、現在検討している子ども食堂との新たな「かかわり」が2つあるそうです。ひとつ目は、子ども食堂に来ることができない家庭に、社員が子ども食堂のスタッフとともに食材を届ける「配達」です。ふたつ目は、会社の保有する冷凍冷蔵庫で温度帯（常温・冷凍・冷蔵）別に支援食材を預かる「保管」だそうです。支援企業のすそ野を広げ、それぞれの持ち味を生かしたパートナーシップを図りたいという阿部さんのお話からは、「支援する人を支援する」、SDGsの理念に沿い「地域の貧困をなくすことに貢献する」という強い想いが伝わってきました。

【村山総合支庁ニュース 令和4年8月号掲載】



シリーズ「子どもの居場所ニュース」

NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワーク さくらんぼ食堂/寒河江市

地域のセーフティーネットとして、 持続可能な「子ども食堂」を！

Vol.5



今回は、寒河江市において地域活性化のために精力的に活動している「やまがた絆の架け橋ネットワーク」に伺いました。この団体は、2012年に東日本大震災の被災者支援及び支援者の育成等を目的に設立され、その後、徐々に支援対象・内容が広がり、平成28年にNPO法人化されました。代表理事の早坂信一さんに、子どもの居場所「さくらんぼ食堂」についてお聞きしました。



食堂には、リピーターだけでなく、毎回新規利用の親子が参加しているということで、その秘訣を聞いてみました。①地域の皆さんのセーフティーネットとして優しい「食堂・フードパントリー」であり続けること、②利用したい親や子どもが気軽に訪れやすいように、寒河江市内すべての児童・生徒にPR チラシを配っていること、③行政と連携しながら感染防止対策を万全に整えた環境で、「対面」にこだわり活動していること、④ボランティアスタッフの負担を考慮し、決して無理せず活動すること。このように、「本当に困っている方に確実に手が届くように工夫する

ことが、持続的に活動するポイント」と力強く話してくださいました。

活動を通して「子どもたちの食べる量が増えた」という親からのうれしい感想が届いているそうです。「食事が提供されるまでの待ち時間で自然と親子の会話が増え、親が子どもだけを見つめることで子どもが認められ・褒められる時間が増えているのではないか。そのため、楽しい空間での食事時間となり子どもの食欲が増しているのではないか。本来あるべき親子の姿としての時間を過ごすことがいかに大切かを考えさせられる」と早坂代表は実感しているようです。

また、「活動に興味のある方は是非連絡をいただき、一緒に活動をしてみませんか。子どもたちの生活を応援するために村山地区各地において定期的にフードパントリーも行っているので、是非、ご協力をいただきたい。」と話しています。

村山総合支庁は、これからも子どもたちの笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。



☆ さくらんぼ食堂 ☆

●開催情報(要事前申込)

開催日:毎月第3木曜日18:30~

場所:寒河江市ハートフルセンター 料金:無料

●問合せ先

電話:0237-85-1070 検索:「絆の架け橋」

ホームページ:<http://kakehasi.jpn.org>



【村山総合支庁ニュース 令和4年12月号掲載】



地域食堂「みんなのひろば えがお」/ 山形市

幅広い年代が集う 大家族のようなコミュニティ

Vol.6



「お年寄りや子ども達はもちろん、お母さん達にとっても、山形で一人暮らしをする学生さんにとっても、気兼ねなく集える大切な場所であってほしいと思っています。」そう話してくれたのは、山形市七日町で地域食堂「みんなのひろば えがお」を運営する、グループえがお代表の沖津節子さん。沖津さんが地域食堂を開いたのは、2018年5月。きっかけは、前年に山形市が主催した子ども食堂運営研修会を仲間3人で受講したことだったそうです。その時の想いを「子どもだけではなく、大家族と一緒に食卓を囲むコミュニティのような地域食堂をつくりたかった」と話してくださいました。



食堂には、近隣から徒歩で利用する常連の高齢者のほか、市内一円から集うファミリーが3~4組。とにかく家族に気軽に来てほしいという思いから、市内の子育て支援施設や児童遊戯施設にチラシを置き、PRに務めています。「地域食堂は楽しいところ」ということを知ってもらうことを目的に、これまでバスをチャーターして郊外学習を企画し、菓子工場見学や大学の学食で食事会を実施しました。「現在は、食堂ではないオープンな場所で、家族みんなが楽しめるイベントを企画中です」と教えてくださいました。



食堂の運営は、3人の核となるメンバーを中心に、ボランティアや大学生・高校生などを含め10名ほど。食堂開催日は、午後6時の食事提供に合わせ、午後3時ごろから仕込みを始めますが、この時間手薄なのが悩みどころで、「この時間に手伝ってくれるメンバーを大募集中」とのこと。手の足りないときには、早めに到着したお年寄りに調理や配膳を手伝ってもらうこともあるそうです。食材の支援も広がってきており、タイムリーに活用・提供できるよう、時として各メンバーが手分けして自宅に持ち帰り、保存・保管することも増えたとのこと。

～みんなのひろば「えがお」～

●開催情報(要事前申込)

開催日: 毎月第2・第4木曜日 16:30 開場

場所: ほほえみデイ七日町

(山形市七日町二丁目7-43)

参加費: 無料

●問合せ先

電話: 090-7933-1148 (沖津)

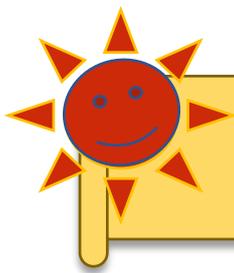
Facebook



最後に食堂運営を継続することの秘訣を伺うと、「仲間がいること。そして自分自身が楽しみながら運営すること。メニューづくりひとつとっても、いかに効率的に(つまり楽に)つくれるか、みんなでアイデアを出し合って工夫しています。」そして、「もうひとつ大切なのは、できないことは決して無理しないこと。継続することを大切に考えています。」と教えてくださいました。



【村山総合支庁ニュース 令和5年2月号掲載】



村山地域で「子どもの居場所」に 取り組む団体を紹介します！



山形でのひら支援ネット

地域食堂「楽(らく)」〈山形市小白川町〉
TEL①:080-3192-5915 TEL②:090-8782-9457
<https://www.facebook.com/kodomo.s.raku/>

ボランティア団体「おかわりキッズやまがた」

すずかわみんなの食堂「おかわり」〈山形市山家町〉
TEL:0237-72-2155

クローバーの会@やまがた

みどりこどもひろば〈山形市南原町〉
TEL:023-664-2275
<https://www.facebook.com/midoricho.kodomo.hiroba/>

沼木にぎわい食堂

沼木にぎわい食堂〈山形市沼木〉
TEL:070-8986-8050

グループえがお

地域食堂 みんなのひろば「えがお」〈山形市七日町〉
TEL:090-7933-1148
<https://m.facebook.com/yamagata.egao/>

かみのやま子ども食堂「かえる家」

かみのやま子ども食堂「かえる家」〈上市市軽井沢〉
TEL:023-672-0810
<https://ja-jp.facebook.com/kodomosyokudoukaeruya/>

生活協同組合共立社 山形本部

いっしょにばんごはん「みんなの食堂」〈山形市城西町〉
TEL:026-686-6262
<https://www.facebook.com/coop.kyoritsusha/>

天童市母子寡婦福祉連合会

天童子ども食堂〈天童市老野森〉
TEL:090-7523-9571

NPO法人 やまがた育児サークルランド

pont tree café〈山形市七日町〉
TEL:023-615-1930
<http://ikujj-land.jp/>

山辺町社会福祉協議会

山辺町地域食堂〈山辺町内公民館等〉
TEL:023-664-7982
<http://yamanobe-syakyo.or.jp/>

成沢みんなの食堂

成沢みんなの食堂〈山形市成沢〉
TEL:023-688-5632

特定非営利活動法人 やまがた絆の架け橋ネットワーク

みんなの居場所「さくらんぼ食堂」〈寒河江市ハートフルセンター〉
TEL:0237-85-1070
<http://kakehasi.jpn.org/>

いちばん星

いちばん星こども食堂〈山形市滝山〉
TEL:090-7790-8704
<https://www.facebook.com/people/いちばん星こども食堂/100057659379590/>

地域食堂 クレヨンピット

地域食堂 クレヨンピット〈河北町谷地〉
TEL:090-2729-2519
<https://www.facebook.com/kureyon.shokudou/>

子ども食堂ういずゆう

子ども食堂ういずゆう〈山形市東原町〉
TEL:023-623-7816

在宅介護を支える家族の会

みんなでおうちごはん〈村山市榑岡〉
TEL:090-2844-1150

特定非営利活動法人 山形県ひとり親家庭福祉会

陽だまり子ども食堂〈山形市美畑町〉
TEL:023-622-4775

まもらんぼ母親クラブ

子ども食堂あうら〈東根市内〉
TEL:090-8617-7807

ボランティア団体「つなぐ」

あさがお子ども食堂〈山形市八日町〉
TEL:090-7930-9811
<http://asagaokodomo.com/>

大石田町社会福祉協議会

こども食堂〈大石田町虹のプラザ〉
TEL:0237-35-3383
<https://oishida-shakyo.com/>

NPO法人 プチユナイテッドアスリートクラブ

ほのぼーノちるどれん〈山形市飯田〉
TEL:023-600-2600
<https://animalschool2011.wixsite.com/animal2011/home>

※上記は、掲載に同意いただいた団体です。

村山地域の子どもの居場所に関するお問い合わせは、山形県村山総合支庁子ども家庭支援課
(TEL:023-627-1151)までご連絡ください。
子ども食堂の開催情報は、「むらやま子育てナビ」でもご紹介しています。

